

生活者レポート

http://koma.seikatsusha.net
e-mail komanet.seikatsuya@nifty.com

市民が育てる
東京・未来

子どもの居場所

東京・生活者ネットワークは
2016年参議院選挙「比例代表区」において
大河原まさこさんの推薦を決定！！



*和泉児童館は現在建替え中
*KoKoA「こまへのこども みんな あつまれ」学校開放事業
*市民総合体育館（有料）、西和泉グランド・市民グランド（無料）には個人開放あり

子どもの居場所

子どもたちに聞きます
身近なところに何時でも一人でも
予約なしに使えて、ホッとできた
り、やりたいことができる場があ
りますか？

狛江・生活者ネットワークは設
立以来子ども自身の育ちを応援し、
遊び場・居場所を調査、政策提案
してきました。30年間を振り返る
と市民の声で狛江市には子どもの
意見表明の場などいろいろなくな
みや場の提供が少し実現しました。
しかし社会や自然環境の変化にと
もない、子どもの育つ環境も大き
く変化し、IT・携帯電話等新たな
課題も出てきています。

下校時間の早い水曜日の放課後、
市内の公共施設・公園や児童館、
小学校などをまわってみました。

晴天の場合は校庭で遊んでいる
子どもの数は他施設に比べて圧倒
的に大勢です。次に多いのが子ど
ものための施設岩戸児童センター
でした。ここでは学区外の小学生
も遊んでいます。場所の使い方も
子ども同士や大人との話し合いで
決められています。屋内体育施設
で低学年から高学年まで動きの激
しい球技（タスク、卓球）を楽し
んでいる子が多く、決められた場
所でゲームをしている子は少数で
した。併設の学童保育所（小学



▲市民センター

案外子どもが集まっているのが
野川・南部地域センターの畳敷き
のフリースペース。下校の早い毎
水曜日には平均20〜30人の子ど
もたちが集まってくるそうです。
折紙を折りながらおやつを食べる
一年生の女の子たち、宿題を一緒
にやっている中高生の子どもらも
男子はほとんどの子どもがゲーム
を持ってきています。時々図書室
や建物周りの緑道や庭にも出て鬼
ごっこなど自由に過ごしてしまし
た。テスト前には中学生もここで
学習しているそうです。地域セン
ターや公民館は休館日以外何時で
もふらっと入れ、このスペースは
無料です。ただし大人の使い方に
合わせなければなりません。市民



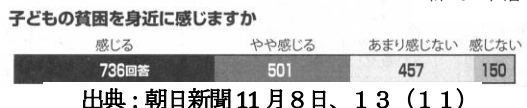
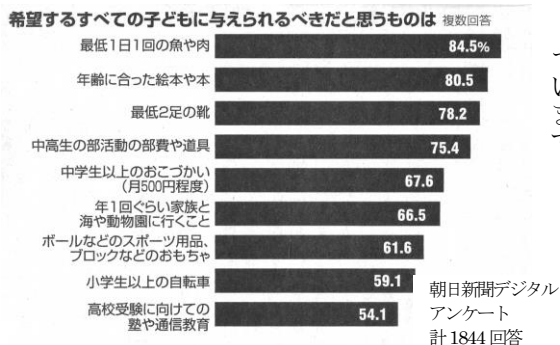
▲野川地域センター

生クラブ)の子どもも一緒に遊び
ます。2階の子ども家庭支援セン
ターでは、夕方育パパも何組か混
じって乳幼児が遊んでいました。

センターの地下と2階にもフリー
スペースがあります。小学生と交
代に中高生がやってきて勉強やお
しゃべりを楽しむ姿がありました。
地域センターや公民館には楽器が
持ち込める防音室がありますが、
団体登録・大人同伴がルールで、
有料のため子どもの利用はほとん
どないそうです。

マップに落としように子どもが
主体として自由に遊んだり余暇活
動ができる公的な場は十分とは言
えません。地域に家庭以外に学校
しか安心・安全な居場所がないと
いうことは逆に子どもにとっては
不幸です。子どもの居場所は空間
だけを指すではありませんが、
少なくとも子どもが安心して、他
者と対等な関係で自由に過ごすこ
とができ、自己肯定感を確認しな
がら仲間や大人との関係性を育む
ことができる場であって欲しいと
思います。禁止事項の多い公園が
多い中、来年開所予定のプレーパ
ークや数年後の北部児童館開館が
待たれます。社会への参加の第一
歩としても子どもも参加で児童館建
設、運営を進めることを狛江・生
活者ネットは提案しています。

多くの人が環境の人工化遊び
の喪失に警鐘を鳴らし、子どもの
成長に欠かせないものとして「ふれ
あい、運動、人とのつながり、自然」
(Moving to learnより引用)を
あげています。



子どもへの社会保障の支出が欧
米の半分と言われる日本ですが、
94年に子どもの権利条約を批准
し20年がたっています。子どもの
権利の実現のためにも生活圏を豊
かに多様化していくことは大人の
責任ではないでしょうか。

近年子どもの貧困が社会課題と
して顕在化しています。今年朝日
新聞が実施したデジタルアンケー
ト「家庭の経済的事情にかかわり
なく、希望するすべての子どもに
与えられるべきだと思うもの」の
結果を分析した首都大学東京教授
の阿部彩さんによれば、「これは
子どもにとって何が最低限の生活
レベルなのか、社会的に合意でき
るところはどこかを問うもので、
市民の過半数の支持があれば、そ
の社会で生きる子どもにとって最
低保障すべきものと位置づけ、
その必需品が欠けた状態を貧困の
指標とする」というものです。飢
えだけでなく、子どもの生活の質
を保障する視点が大事だと指摘し
ています。

東京・生活者ネットワークは、 2016年参議院選挙[比例代表区]において 大河原まさこさんの推薦を決定！！



私たちは「アベ政治を許さない」
おおぜいの市民とともに、
来夏の参議院選挙を闘います！

生活者ネットワークは市民主
権・地域主権の行きわたる政治
をめざし、国政においても市民
参画を可能にする市民政治の実
現を求めてきました。

2007年参議院選挙で、生
活者ネットワーク出身の大河原
雅子さんが当選し、国政におけ
る政策形成過程への市民参加を
拡げることにつながり、続く09
年の自民党から民主党への政権
交代では、生活者ネットワーク
の政策実現の可能性が広がりま
した。

しかし、12年、わずか3年
半で自民党に政権が戻り、私た
ちがめざす自治分権社会の実
現は後退を余儀なくされ、原発
ゼロ、エネルギー・食糧の地産地
消、社会保障の充実など、一人
ひとりの人権が尊重され、持続

可能な暮らしの豊かさを実感で
きる政治の実現の可能性も大き
く後退しています。

政権交代後の、特定秘密保護
法強行採決、集団的自衛権行使
容認の閣議決定、武器輸出三原
則の見直しなど、数の力で強引
に押し進める安倍政権の暴走ぶ
りは目に余るものがあります。
特に憲法違反が明白な安全保障
関連法の強行採決は、国民主
権、立憲主義の否定であり、平
和主義、議会制民主主義のルー
ルをも脅かす行為にほかなりま
せん。

相次ぐ安倍政権の独裁ぶり
に、学者、法律家はもとより、中
高大学生、子育て世代、壮年か
ら高齢層まで、全国から「アベ政
治を許さない」市民の怒りが湧
き上がっています。いまこそ私た
ちは、民主主義を体現し、その
深化を追求する地域の市民の力
で、再びの政権交代を勝ち取ら
なければなりません。

原発ゼロ・反TPP・憲法を活かす
市民政治のリーダーを、
再び国政に！

東京・生活者ネットワークは、
市民の声が届く政治、主権者市
民の政治を実現するために、来
夏の参議院選挙[比例代表区]で、
ネットの国政取り組み方針(★)
を共有できる大河原まさこさん
を推薦し、選挙に臨みます。

大河原まさこ・私の決意

私の政治への直接参加のきっかけは、子育て中に参加した生活協同組合の活動で、おおぜいの消費・購買力を合わせれば、生産や流通のあり方、経済のしくみまでも変えることができる経験と、地域で暮らす生活者(特に女性たち)が、自らさまざまな生活課題や社会的困難を解決するために政治に参画する「生活者の政治」との出会いにあります。都議会議員10年、参議院議員6年の経験を通して、市民の参画する政治の必要性を痛感してきました。

安倍政権の危うさは、震災復興・防災に名を借りた公共事業のパラマキ、原発の安全神話への回帰、格差拡大と雇用の不安定化を助長する規制緩和、経済成長至上主義と歴史修正主義の傾向からも明らかです。安倍政権の暴走は加速しており、憲法違反の戦争法案をはじめ、日本の民主主義の根幹が問われています。18歳選挙権も実施される来夏の参議院選挙こそ、日本の将来を決定づける重要な選挙となります。全国の市民の底力で、私は、生活と地域の視点を武器に再び国政をめざします。

おおかわら・まさこプロフィール

●1953年生まれ。フェリス女学院中・高校、国際基督教大学卒業。映画舞台製作会社入社。生活クラブ生協に加入、食品安全条例制定直接請求運動などに関わる。93～2005年都議会議員。99～06年東京・生活者ネットワーク代表委員。07～13年参議院議員(東京選挙区)。厚生労働委員、農林水産委員、消費者問題特別委員など。都市農業推進議連、再生可能エネルギー・省エネ技術促進議連、公共事業チェック議員の会、チャイルドライン議連、TPPを慎重に考える会、原発ゼロの会、立憲フォーラムなど。民主党参議院比例区第一総支部長。14年リベラル市民政治研究所設立、代表。自治体議員立憲ネットワーク顧問。世田谷区在住。

(★) 国政取り組み方針:ネットの基本政策

- 憲法を活かす
- 脱原発、省エネ・再生可能エネルギー政策を推進する
- 地域主権を拡大する
- セーフティネットを充実させる
- 食の安全を守る
- 女性議員を増やす

東京・ローカルから国政を変える！ 平和・人権・自由、民主主義を取り戻す力に！

2012・2014年総選挙以来、安倍自公政権は数にモノを言わせる政権運営を強行し、立憲主義をも否定してはばかりません。「世界で最も厳しい規制基準」という欺瞞のもと、地方創生とは相容れない原発再稼働を強行。私たちの生存権すら脅かしかねないTPP問題から国民の目をそらす東京オリンピック、その招致劇では「福島事故は、完全にコントロールしている」と誤魔化し、「国民の命と平和な暮らしを守るための安保法制」という嘘で固めた違憲法案を強行採決。「アベNO!」の民意が高まる中、今度は「景気回復、この道しかない」などと信頼回復に躍起ですが、もはや安倍総理に公正な政権運営など望むべくもありません。

東京・ローカルから国政を変える！ 私たちは、「アベ政治を許さない」おおぜいの若者、市民らとともに来夏の参議院選挙を闘います。